



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 ニューラルグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4056 URL <https://www.neural-group.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重松 路威
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 財務管理本部長 (氏名) 種 良典 (TEL) 03-5157-2345
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,194	16.2	△624	—	△644	—	△601	—
2022年12月期第3四半期	1,887	—	△309	—	△293	—	△872	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 △605百万円(—%) 2022年12月期第3四半期 △872百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	40.64	—
2022年12月期第3四半期	60.86	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

2. 2022年12月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年12月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	3,480	518	14.3
2022年12月期	3,803	432	11.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 498百万円 2022年12月期 422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	11.2	△630	—	△638	—	△630	—	△42.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	15,147,199株	2022年12月期	14,439,199株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	140株	2022年12月期	119株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	14,810,028株	2022年12月期3Q	14,331,021株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	8
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

(1) 財政状況及び経営成績の状況

当社グループは「AIで心躍る未来を」をミッションとして掲げ、枠にとらわれない幅広い領域でのAIサービスの展開を目指しております。生成AI技術をはじめとする最先端技術の向上や、AI技術を通じたリアル社会での地域広告メディアの拡大に加え、エッジAIを活用した高品質なAIサービスでスマートシティの実現と発展に貢献するとともに、事業の持続可能性向上に取り組んでいます。当社グループ事業は、デジソリューション、ライフスタイルの2つのサービスドメインで構成されております。

デジソリューションサービスドメインでは、AIカメラを活用して商業施設の大型駐車場や物流施設のトラックバースの効率的な運用を実現する「デジパーク」と、街中の人流解析や防犯に活用いただける「デジフロー」、AIカメラを活用して広告効果の可視化を実現するデジタルサイネージを媒体とした広告サービスを提供しております。また、AIの研究・開発企業であるOpenAI社が提供するChat GPTを用いたWeb解析やロコミへの自動返信機能を兼ね備えた新たなWebサービス「Generative Web」の販売を開始するなど、最先端テクノロジーを活用したサービス展開を推進しております。ライフスタイルサービスドメインでは、アパレル向けファッショントレンド解析「AIMD」をはじめとする幅広い領域でAIシステムサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間において、売上高は、2022年11月30日にOpenAIにより発表されたChatGPTを始めとするAIのモデルの1つである大規模言語モデル(LLM)が注目され第四次産業革命を迎えるといわれているAI市場の追い風を受ける中、2021年度においてユニットベース事業(自社AIサービスの販売)へ移行したサービスについて汎用的なニーズに基づく使いやすさを追求し、また、前年同期では連結損益計算書への損益取込期間が短い株式会社ネットテン(2022年9月にニューラルマーケティング株式会社へ商号変更)の影響もあり、前年同四半期より増加しました。

一方、当社グループは事業成長期にあり、活動を支えるために事業基盤を強化すべく、営業人員の積極的な採用、海外を含む事業拠点の拡大、AIエンジニアの採用及び育成を行った結果、事業拡大に伴う販管費の増加等で前年同四半期より営業損益は悪化しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,194,046千円(前年同四半期16.2%増)となり、営業損失624,414千円(前年同四半期は営業損失309,569千円)、経常損失644,922千円(前年同四半期は経常損失293,514千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は601,812千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失872,153千円)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントはAIエンジニアリング事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

より詳しい決算内容に関しては、当社IRサイトより、2023年11月10日発表の「2023年12月期 第3四半期 決算説明資料」をご覧ください。

参考URL:<https://www.neural-group.com/ir/library/index.html>

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,769,515千円となり、前連結会計年度末に比べ260,975千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が133,359千円減少したこと並びに受取手形、売掛金及び契約資産が185,849千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,711,257千円となり、前連結会計年度末に比べ61,608千円減少いたしました。これは主に、のれんが77,909千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,480,773千円となり、前連結会計年度末に比べ322,583千円減少いたしました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,551,475千円となり、前連結会計年度末に比べ64,532千円減少いたしました。これは主に、流動負債「その他」に含まれる未払金が66,510千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は1,410,840千円となり、前連結会計年度末に比べ344,066千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が284,811千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,962,315千円となり、前連結会計年度末に比べ408,599千円減少いたしました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は518,458千円となり、前連結会計年度末に比べ86,015千円増加いたしました。これは主に、資本金339,504千円の増加、資本剰余金339,504千円の増加、利益剰余金601,812千円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年2月10日に公表した2023年12月期連結業績予想を下記の通り修正します。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円銭)
前回発表予想 (A)	4,000	10	2	△100	△6.92
今回修正予想 (B)	3,200	△630	△638	△630	△42.54
増減額 (B-A)	△800	△640	△640	△530	—
増減率 (%)	△20.0	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2022年12月期)	2,878	△311	△307	△909	△63.32

修正の理由

売上高につきましては、第1四半期におけるデジタルック事業の事業規模拡大に向けての施策について、当初計画では新規採用した人材について、営業管理体制、KPI管理の構築3ヶ月程度で生産性が立ち上がることを想定してまいりました。しかしながら、実際は採用した人材の人員入替や個々人の素質にあわせた配置転換を完了させるのに時間を要し、想定と異なる結果になりました。生産性の立ち上がりや営業管理体制の構築が当初より遅れた結果として、前回予想を800百万円減額修正し、3,200百万円としました。

営業利益につきましては、積極採用による先行投資を実施して、前期末から第3四半期末現在で合計83名増員しました。そのうち、子会社であるニューラルマーケティング社の増員が72名であり、営業人員の積極投資・採用に成功し、採用のノウハウが蓄積されました。育成のノウハウについても大きな成果があった一方、当初想定していた売上高の伸長の遅れに加えて、事業拡大に向けた人員増や人材強化のための採用費等の増加などにより、前回予想を640百万円減額修正し、△630百万円としました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、投資有価証券の売却により発生した利益や、減損損失による特別損失の発生を踏まえて、前回予想を530百万円減額修正し、△630百万円としました。

詳細につきましては、2023年11月10日に開示いたしました「2023年12月期 第3四半期 決算説明資料」をご参照ください。

※ 業績予想につきましては、本決算短信の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,112,907	979,548
受取手形、売掛金及び契約資産	535,546	349,696
棚卸資産	290,114	349,918
その他	91,922	90,351
流動資産合計	2,030,490	1,769,515
固定資産		
有形固定資産	88,737	73,412
無形固定資産		
のれん	1,151,331	1,073,421
その他	217,020	197,622
無形固定資産合計	1,368,351	1,271,043
投資その他の資産		
投資有価証券	167,059	157,215
敷金及び保証金	146,896	136,895
その他	1,822	72,691
投資その他の資産合計	315,777	366,801
固定資産合計	1,772,866	1,711,257
資産合計	3,803,357	3,480,773
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,842	67,355
1年内償還予定の社債	34,000	34,000
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	454,988	454,988
その他	362,177	295,131
流動負債合計	1,616,007	1,551,475
固定負債		
社債	66,000	39,000
長期借入金	1,599,192	1,314,381
退職給付に係る負債	54,795	57,459
その他	34,919	-
固定負債合計	1,754,906	1,410,840
負債合計	3,370,914	2,962,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	79,106	418,610
資本剰余金	1,423,283	1,762,787
利益剰余金	△1,081,032	△1,682,845
自己株式	△495	△528
株主資本合計	420,861	498,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,673	-
為替換算調整勘定	-	131
その他の包括利益累計額合計	1,673	131
新株予約権	9,907	14,946
非支配株主持分	0	5,357
純資産合計	432,443	518,458
負債純資産合計	3,803,357	3,480,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,887,780	2,194,046
売上原価	602,356	768,639
売上総利益	1,285,423	1,425,406
販売費及び一般管理費	1,594,992	2,049,820
営業損失(△)	△309,569	△624,414
営業外収益		
受取利息	55	32
受取配当金	173	1
為替差益	9,967	2,857
受取保険金	-	1,271
保険解約返戻金	18,267	-
違約金収入	-	600
その他	8,274	656
営業外収益合計	36,739	5,419
営業外費用		
支払利息	17,145	17,768
資金調達費用	3,250	-
株式交付費	-	8,118
その他	288	41
営業外費用合計	20,684	25,928
経常損失(△)	△293,514	△644,922
特別利益		
固定資産売却益	8,220	909
投資有価証券売却益	-	3,586
特別利益合計	8,220	4,495
特別損失		
固定資産売却損	-	1,348
減損損失	624,959	63,969
特別損失合計	624,959	65,317
税金等調整前四半期純損失(△)	△910,254	△705,744
法人税、住民税及び事業税	82,540	3,152
法人税等調整額	△120,640	△104,507
法人税等合計	△38,100	△101,355
四半期純損失(△)	△872,153	△604,389
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△2,576
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△872,153	△601,812

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△872,153	△604,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△1,673
為替換算調整勘定	-	176
その他の包括利益合計	7	△1,497
四半期包括利益	△872,146	△605,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△872,146	△603,355
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△2,531

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月12日付で、ソニー株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が339,504千円、資本準備金が339,504千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が418,610千円、資本剰余金が1,762,787千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、AIエンジニアリング事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、AIエンジニアリング事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2022年2月21日に行われた株式会社ネットテン(2022年9月にニューラルマーケティング株式会社へ商号変更)との企業結合について、前第1四半期連結会計期間より暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、取得時点(取得日 2022年2月21日)において、無形固定資産の顧客関連資産に262,527千円、投資その他の資産の保険積立金に124,092千円、投資有価証券に143,750千円、固定負債の繰延税金負債に182,977千円が配分されました。この結果、前第3四半期連結会計期間において暫定的に算定されたのれんの金額は1,441,560千円から264,259千円減少し、1,177,300千円となっております。

また、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、営業損失が51,040千円、経常損失が37,575千円増加しており、親会社株主に帰属する四半期純損失が14,603千円増加しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
1株当たり四半期純損失(△)	△60円86銭	△40円64銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千円)	△872,153	△601,812
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)(千円)	△872,153	△601,812
普通株式の期中平均株式数(株)	14,331,021	14,810,028
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。
2. 前第3四半期連結累計期間については、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。